

＝ 病院の理念 ＝
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ 461 2023年 1月号
 (毎月5日発行) (定価1部20円)
 発行 東京勤労者医療会東葛病院 院長 井上 均
 〒270-0153 千葉県流山市中102-1
 TEL 04 (7159) 1011(代)
 FAX 04 (7158) 9202
<http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/>

コロナ禍をのりこえ いっそうの人づくり街づくりの取り組みを

新春 座談会

2023 病院・友の会の共同の営みをすすめよう

新年あけましておめでとうございます。新年号では病院院長・看護部長・事務局長・東葛健康友の会会長の「新春座談会」をお届けいたします。(編集部)

2022年を振り返る

井上 均院長

2022年はコロナ感染に明け暮れた一年でしたけれども、最初の年よりは私達も患者の皆様もコロナ感染というものにだいぶ慣れもあって対処の仕方も変わってきたという印象です。

病院としては感染が広がってクラスターを出してはいけないということ、細心の注意を払って日々の生活も仕事も頑張ってきたと思います。病院感染委員会の頑張りもあって大きなクラスターを出さないうでくれました。

現在第8波で大変な状況ですが、医療活動を活発化できるように医師の体制を増やしたい。医師獲得をこれまで以上に力を入れたらと思っています。

萩原正臣事務局長

昨年はずっとの大きな波を経験しました。国

の政策としては、補助金の減額や廃止、改正感染症法など、アフターコロナへの出口に差し掛かっている、という強引にそこに持っていつているので、大きく今年が変わってくると思います。

外に目を向けると、昨年2月末にロシアのウクライナ侵攻という大きく悲しいニュースがあり、戦争の恐ろしさというものを全世界が実感しました。それに合わせて東葛病院では、看護部を中心に戦争反対と平和を訴えています。

水口かおり看護部長

With コロナを指して行ってきたけれど相変わらずずっと感染対策に追われてきたという感じがします。

昨年患者さんが何を望んでいるか立ち止まって一緒に考えて、事例を深める時間をどんどん作っていきましょう！とスタートしてきたんですけれども、なかなか難しくかったと思います。

今回のコロナの大変なところは職員や家族が瞬間に感染してしまい、看護体制が厳しくなったことです。その中で新人20名一人も辞めずにいるのは職場がずっと成長を見守ってきているからです。

一昨年は大変心が痛む虐待事件がありました。人権とは何か、人権が守られるとはどういう事なのかを目標にして学習会、事例検討を重ねてきました。ロシアの侵攻に対する反対行動は「平和こそ看護の原点」という思い

で継続しています。

江口正博友の会会長

新型コロナウイルス感染症から会員と市民の命と健康を守る活動では、引き続きワクチン接種予約のお手伝いや、流山市に対して、発熱外来の受け入れ体制強化と医療現場への支援を要請する活動などに取り組みました。

平和を求める活動では、ロシアによるウクライナ侵略に対して抗議声明を出し、これに乗じて日本を戦争する国にする動きが強まる中で、憲法9条を守るう、国際紛争は国連憲章に基づいて話し合いで解決をと会員や地域に訴えました。

ウクライナ国民への支援活動にも取り組みました。8月の支援のコンサートには、多くの方の参加と募金を頂き、100万円近い支援金を国連に送る事ができました。

9月から12月にかけては、ブロック(流山市を4つ、柏市を一つ)毎に健康相談会や健康チェック、宣伝・署名活動に取り組み、400名以上の方が参加され、「活動を継続して」の声を頂いています。

井上 「社会保障の改善」という大きな問題があります。これは今の日本の政治が国民の方を向いていないことの証明です。

オリンピックの開催にしても、強行したら裏でやっぱり政治家も絡んだ利権があった。与党は選挙に勝つために反社会的集団を利用してきたことが判明したりね。人権とかLGBTの問題、否定するような発言もありました。

水口 介護保険制度の大改悪は酷い制度です。高齢者の医療介護の自己負担があちこちで倍増していて、利用控えや退院時の福祉用具導入も更に抵抗感が増すと思います。家に暮らせなくなる。私たちが常に政治へのアクションを高くもち、現場の声を届けていかなければならないと考えます。

萩原 コロナ病床確保料という「補助金」があります。これについて会計検査院が監査に入りだしています。現在のところ全国で55億円が過誤申請という

ことで返還させられる状況になっています。多くの医療機関はコロナ初期の何もわからない状況から、患者さんのために奮闘してきたのであり、何とも事務的すぎる対応にやるせない思いです。

2023年社会・医療の状況は

職員に成功体験をたたくさんしてもらいたいと思います。退院した患者さんの所に実際に行ってみる。入院している時の患者さんとは全然違う生き生きとした表情の患者さん、仕事をしている患者さんに会うことで自分たちの看護を確信します。

江口 今年の活動です。新型コロナ対策では、引き続き検査、医療体制の強化を求めています。医療・介護制度の改善は継続した課題です。政府が大軍拡、改憲、戦争する国づくりに突き進む中で、地域で平和を求め、声を更に広げたい。いく事は重点課題です。

職員育成の課題と友の会共同の営み

井上 会議も大人数では出来ないし、地域活動もなかなか手足が出ない状況があります。自分としては職員が東葛病院で働くのにやりがいと目標をもって日々の仕事に打ち込んで欲しいと思っています。

萩原 今回友の会が、地域ブロックごとに活動する取り組みをされています。会員さんと職員がもう少し近づけるような取り組みを、病院としても進めていきたいなと考えています。

水口 今回の地域ブロックごとの班会へ看護士も参加しています。みんな元気になって戻ってきます。病院の中心だけで働くのではなく地域に出るとい行動は大切です。コロナ禍

で新人の地域探検が無くなりまし。感染対策が確実に出来る様になってきたので再開したいですね。

職員に成功体験をたたくさんしてもらいたいと思います。退院した患者さんの所に実際に行ってみる。入院している時の患者さんとは全然違う生き生きとした表情の患者さん、仕事をしている患者さんに会うことで自分たちの看護を確信します。

江口 今年の活動です。新型コロナ対策では、引き続き検査、医療体制の強化を求めています。医療・介護制度の改善は継続した課題です。政府が大軍拡、改憲、戦争する国づくりに突き進む中で、地域で平和を求め、声を更に広げたい。いく事は重点課題です。

職員育成の課題と友の会共同の営み

井上 会議も大人数では出来ないし、地域活動もなかなか手足が出ない状況があります。自分としては職員が東葛病院で働くのにやりがいと目標をもって日々の仕事に打ち込んで欲しいと思っています。

萩原 今回友の会が、地域ブロックごとに活動する取り組みをされています。会員さんと職員がもう少し近づけるような取り組みを、病院としても進めていきたいなと考えています。

水口 今回の地域ブロックごとの班会へ看護士も参加しています。みんな元気になって戻ってきます。病院の中心だけで働くのではなく地域に出るとい行動は大切です。コロナ禍

で新人の地域探検が無くなりまし。感染対策が確実に出来る様になってきたので再開したいですね。

病院・各診療所年末年始休診のお知らせ

12月29日(木)～2023年1月3日(火)
 休診となります

福祉活動を行っているのかというところを、もう一度見つめ直していきたい。

水口 日常的に何でも相談しあい気軽に話し合える環境でありたいですね。コロナ禍で話す機会が少なくなり、触れる機会も少なくなりました。でもコロナ禍で結束力は高まったと思います。法人内だけでなく、周辺の病院との繋がりも出来ました。

年末の東葛病院フドバンクは、友の会会員の協力もあって、お米とかお菓子とか乾物などがたくさん集まりました。病院職員の意識の高さも分かって嬉しい取り組みでした。

一同 今年もよろしくお願いたします。



前列右から 井上院長・江口会長
 後列右から 水口部長・萩原事務局長